

数値予報国際シンポジウムについて

日本気象学会の秋期臨時総会で議決された数値予報国際シンポジウムは下記の要領によって開催されます。

主催：日本気象学会

後援：日本学術会議，気象庁，IUGG（国際測地学，地球物理学連合）

日時：1960年11月7～13日

場所：東京

使用言語：英語を主体とする

内容：数値予報および数値予報に関連する気象力学…
…基礎的研究，短期予報，長期予報，雨量予報
台風の予報など

日程：11月7日 討論

11月8日 //

11月9日 都内見物

11月10日 討論

11月11日 //

11月12日 } エクスカーション
11月13日 }

会員多数の参加を希望します。講演希望者は英文アブストラクト（タイプ印刷1枚以内）を付けて，1960年6月15日までに下記にお送り下さい。なお，講演日時に制限がありますので講演希望が多数ある場合には講演委員会に運営を任せていただきたいと思います。

記

東京都千代田区竹平町

気象庁電子計算室内

数値予報国際シンポジウム講演委員会

IUGG 1960年総会予定プログラム

(IUGG 幹事組織)

場所 ヘルシンキ

会期 1960年7月25日～8月6日

IAMAP の暫定プログラム

7月25日

連合事務

7月26日

午前 IUGG 総会

午後 IAMAP 総会

分科会会長挨拶

事務局報告

委員会報告

7月27日

午前 (a) 大気力学現象

午後 (b) 干魃 (IASH 主催)

午後 オーロラ (IAGA 主催)

7月28日

午前及午後 大気力学現象

夜 国際地球物理年総会 (IUGG 幹事組織)

7月29日

午前及午後 ロケット及び人工衛星の結果

7月30日

午前 IAMAP 事務打合せ

8月1日

午前 大気電気 (IAGA と共催)

午後 津波，高潮 (IAPO及IAMA後援，IASPEI 組織)

8月2日

午前及午後 大気化学及び放射能

8月3日

午前及午後 大気化学及び放射能

8月4日

午前及午後 超高層大気 (IAGA 共催)

8月5日

午前 IAMAP 総会

委員会の設立

役員選挙

8月6日

0900 IAMAP 閉会

1030 IUGG 閉会

科学技術についてのアンケートについて

科学技術会議総合部会より日本気象学会に次のようなアンケートを求めて来ました。本学会員で御意見のある方はこのアンケートの質問に従って御回答を御送り下さるよう御願ひ致します。

宛 先： 東京都千代田区大手町 気象庁内 日本気象学会事務局 科学技術アンケート係

切期日： 昭和35年2月25日

科学技術の各分野における10年後を目標とした研究の
推進方策に関するアンケートについて（依頼）

日本気象学会長 殿

科学技術会議総合部会
第3（研究）分科会
主査 山内俊吉

科学技術会議においては、さきに内閣総理大臣から発せられた諮問第1号「10年後を目標とする科学技術振興の総合的基本方策について」に対する答申を行うため、現在5つの分科会（目標、人材、研究、情報、制度）を設けて審議中ですが、第3（研究）分科会においては、研究活動という観点から科学技術振興の総合的基本方策について検討中であります。

この方策の立案のために、科学技術の各分野の今後10年間にわたる研究の計画的推進方策について、広く各専門分野の御意見を伺い、その結果を当分科会の審議に積極的にとり入れている。

もちろんこのほか基礎的分野においては、特定の研究分野だけをとり出して特別に推進するということが、むしろ不適当な場合も少なくない。

当分科会においては、これらの諸点について十分の考慮を払いつつ、まずこのアンケートにより長期的観点に立って、特別の推進方策を講ずることがよいと考えられる各分野について、その研究目標と具体的推進方策（研究者、研究組織、研究費、研究施設・設備等に関する諸問題）とを明らかにしようとするものである。

2. アンケートの協力依頼先

科学技術関係の代表的学・協会（以下略）

アンケート

質問1（応用的研究）

今後長期間（5～10年）継続して重点的に推進すれば、特に豊富な研究成果が予想され、将来わが国の産業および国民生活の発展に直接貢献する技術開発を導くような

- (1) 研究目標ないし研究プログラムがあるか？
- (2) あるとすれば、その研究目標ないし研究プログラムは何か？
- (3) その具体的な推進方策（研究者、研究組織、研究費、研究施設、設備等に関する諸問題）は何か？
- (4) また、推進することが必要な理由は何か？

質問2（基礎的研究）

- (a) 基礎的分野において、長期的観点に立って計画的に推進することが、特に必要と思われる
 - (1) 研究目標ないし研究プログラムは何か？
 - (2) その研究目標ないし研究プログラムの具体的な推進方策（研究者、研究組織、研究費、研究施設、設備等に関する諸問題）は何か？
 - (3) また、推進することが必要な理由は何か？
- (b) 上記のような研究目標ないし研究プログラムが、はっきりとは立ちにくいような分野において、研究全般を進展させるために
 - (4) 特別必要な施設、設備（たとえば、その分野の

全国的センターとなるような施設、設備）があるか？

- (5) あるとすれば何か？
- (6) またその必要な理由は何か？

質問3（その他）

- (a) わが国における当該分野の研究の発展のために
 - (1) その関連研究分野において意識的に解決をはかってほしい諸問題があるか？
 - (2) あるとすればどのような問題か？
 - (3) また、解決を必要とする理由は何か？
- (b) わが国における
 - (1) 当該分野の研究の発展のために、確立してほしい制度、規格・安全等に関する規制、整備してほしいデータ、実現してほしい技術水準、利用できるサービス（計算、分析、試験、測量、資料の分類・保存、情報処理等々）等があるか？
 - (5) あるとすれば何か？
 - (6) それを必要とする理由は何か？

その他 科学技術振興上、有益と思われる意見がある場合は、以上の項目にとらわれず、その御意見を御記入下さい。